

実効性ある不登校支援を

山中氏、環境づくりを要望

大阪市議会

日本共産党の山中智子大



質問する山中氏
19日、大阪市議会

阪市議は19日の市議会教育
こども委員会で、不登校児
童生徒等の支援策として実
効性のある「別室登校」の
環境づくりを求める陳情に
ついて採択を求めて質疑し
ました。

大阪市では、人員が配置
された常設の「別室」の取
り組みである校内教育支援
センター「スペシャルサポ
ートルーム」が、来年度か
ら80校に拡充されます。山
中氏は「教室にいるのはし
んどい、でも学校には行き
たいという子どもと保護者
の切実な思いに応え、学校

と連携して、要望のあるす
べての学校で実施を」と要
望しました。

山中氏は、子どもが安心
できる居場所づくりととも
に「原因を分析して不登校
を減らし、防止することに
力が注がれるべき」だと強
調。文部科学省の委託で行
われた不登校の要因に関す
る調査を紹介し「子どもを
苦しめる管理的なあり方な
ど、学校が変わるべき」だ
と述べるとともに、「一人
ひとりの子に向き合うこと
ができる教育環境をつくる
ためにも少人数学級が必
要」だと主張しました。